							1401000				
インスリン(IRI)											
IRI											
IRI 生化 検査オーダー											
患者	同意に関する要素	求事項	特記事項なし								
オーダリング手順 1 電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→											
2											
3											
		4									
		5									
検査に影響する臨床情報			溶血により赤血球内のプロテアーゼにさらされると IRI は分解され、低値化する。								
検査	受付時間		8:15~16:00								
検体採取・搬送・保存											
患者	の事前準備事項		溶血による影響を受ける為、採血時に注意が必要。								
検体	採取の特別なタイ	イミング	負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り								
検体の種類 採り			取管名	内容物		採取量	単位				
1	全血	10青		分離剤		8	mL				
2	-	-		-		-	-				
3	-	-		-		-	-				
4	-	-		-		-	-				
5	-	-		-		-	-				
6	-	-		-		-	-				
7	-	-		-		-	-				
8	-	-	T	-		-	-				
検体	搬送条件		室温								
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体								
			2)バーコードラベルの貼られていない検体								
			3)固形物								
			4)粘性のある検体								
保管	検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)								
検査結果·報告											

検査室の所在地			病院棟 3 階 中央検査部							
測定時間			当日中~翌日							
生物学的基準範囲			2.1-19.0 μU/mL							
			A I A - パックC L インスリン添付文書							
臨床判断値		彭	設定なし							
基準値			単位 µU/mL							
共通低值 共通高值		高値	男性低値	男性高値	女性低値		女性高値			
2.1	1	9	設定なし	設定なし	設定なし		設定なし			
パニック値高値		直設	設定なし							
	低值	直設	定なし							
生理的変動要因		特	特記事項なし							
臨床的意義			インスリンは、膵ランケルハンス氏島β細胞において前駆体プロインスリンを経て生成されるペ							
			プチドホルモンで、糖代謝ならびにアミノ酸、脂質代謝などに関与している。							
			インスリンの代表的な生理作用は血糖降下であり、膵からの分泌も血中グルコース(血糖)							
		濃	濃度の支配を受けている。							
		す	すなわち、血糖値上昇による促進、低下によりコントロールされる。							
		粗	糖尿病はβ細胞の減少や機能低下に基づくインスリンの分泌不足や、末梢組織でのインス							
		IJ:	リン作用不足によりもたらされる。							
		血	血中インスリン濃度はβ細胞のインスリン分泌機能を反映し、糖尿病の診断・病態把握、							
		而	耐糖能異常の原因鑑別に有用な指標である。							
			三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第4版286							

2 / 2 生化 322